

帯広にコールセンター

東京のIT業者 来年開設100人体制視野

ホームセキュリティネットワークサービスなどを手掛ける「ユーエムイー」（本社東京、内野雅和社長）は来年1月中旬にも、帯広に365日24時間対応の「不動産コールセンター」を新たに開設する。内野社長は「1年後にはスタッフを100人まで増やし、地域の雇用創出にも貢献したい」と話している。

AIで不動産相談を処理



内野社長

「業界では初」（内野社長）という、契約入居者のトラブル処理などでAI（人工知能）とSNS（ソーシャル・ネットワークキング・サービス）を組み合わせた新システムも導入する考え。ユーエムイーはインター

ネットサービスプロバイダー運営や企業向けサーバー構築などが業務で、2006年設立。資本金約9300万円。09年不動産コールセンター事業に参入。沖縄と東京に拠点を置き、全国不動産会社65社と27万件的契約がある。

内野社長によると、コールセンターの開設場所は市内大通南7のクリエイティブ大通7丁目ビル内。30人ほどのスタッフでスタートする考え。既存の2拠点とともに帯広でも、全国の契約入居者のトラブル処理などに24時間対応する。帯広への進出に当たり導入するのはCTI（電話とパソコンを連携させた）システムで、約3000万円をかけ、これまで有人対応だった一部サービスを契約入居者が持つスマートフォンなどで自動対応していく計画という。

2年後には不動産業者との契約を約5倍の3000社、入居数100万件にまで拡大するのが目標。内野社長は「人口も一定数いて、コールセンターが現段階であまりない。空白地帯」であることも魅力だった。業界では今までできそうできなかったシステム。限られた人材で効率的に事業を拡大できる。近い将来は株式上場も目指している」と話している。

（佐藤いづみ）